

はこだて入退院支援連携ガイド 令和4年度 アンケート集計結果

資料1

【年度別回収率】

種別	令和3年度			令和4年度		
	配布数	回答数	回収率	配布数	回答数	回収率
病院	25	20	80.0%	24	15	62.5%
居宅	98	44	44.9%	97	51	52.6%
包括	10	4	40.0%	10	5	50.0%
施設	147	50	34.0%	189	42	22.2%
合計	280	118	42.1%	320	113	35.3%

1. 「はこだて入退院支援連携ガイド」(以下「連携ガイド」と表記)をご覧になった事がありますか。

- ・はい 103 (91.2%)
- ・いいえ 10 (8.8%)

【所属機関別】

	はい	いいえ
病院	15	0
居宅	48	3
包括	5	0
施設	35	7
合計	103	10

【年度別回答】

回答	令和3年度	令和4年度
はい	77.7%	91.2%
いいえ	22.3%	8.8%

2. (1. で「はい」と答えた方)「連携ガイド」をどのような機会にお使いですか。(複数回答可)

- ・患者・利用者との面談時 17 (13.0%)
- ・新人教育や研修等 14 (10.7%)
- ・業務の確認等 49 (37.4%)
- ・活用する機会がなかった 50 (38.2%)
- ・その他 1 (0.8%)
- ・未記入 0 (0.0%)

【所属機関別】

	面談	研修	業務	機会ない	その他	未記入
病院	3	6	4	8	0	0
居宅	8	3	31	16	0	0
包括	1	3	4	3	1	0
施設	5	2	10	23	0	0
合計	17	14	49	50	1	0

【年度別回答】

回答	令和3年度	令和4年度
面談	13.1%	13.0%
研修	10.9%	10.7%
業務	32.1%	37.4%
機会ない	39.4%	38.2%
その他	3.6%	0.8%
未記入	0.7%	0.0%

「その他」でのご意見
(包括) 自己学習

3. 「連携ガイド」を使用してのご意見をお聞かせ下さい。

• わかりやすく記載されている（合計：13件）

（病院：2件）（居宅：5件）（包括：5件）（施設：1件）

• 業務の確認等（合計：10件）

振り返る時や基本に戻りたい時に使える。（病院：1件）

入退院時、施設入所時に確認できる。（居宅：3件）（包括：4件）

業務の確認時に読むことにより、スムーズに調整ができる。（居宅：2件）

• 患者・利用者との面談時（合計：9件）

退院前カンファレンスの司会進行の時に活用しています。（病院：1件）

利用者（患者）や家族への説明、理解を得るために使用しています。（病院：1件）（居宅：1件）

退院前カンファレンスの際に、タイムテーブルとして使用できるほか、事前準備に活用できるためとても助かります。（居宅：1件）

医療機関、支援対象者、家族、在宅、施設の関わりや流れが説明できるのがいいと思う。（居宅：3件）

入院時、退院前カンファレンス時に使用。（施設：2件）

• 新人教育や研修等（合計：5件）

新人や実習生への指導には大変役立っています。（病院：2件）

未経験などの新任ケアマネに対する教育時に活用させてもらっています。（居宅：2件）

新人研修に役立ちます。特に相手の役割がわかるガイドになっているので良いと思います。（包括：1件）

• 活用する機会がなかった（合計：4件）

内容を深く理解するために読み込む時間がなく、活用には至らなかった。（居宅：1件）

活用する機会はありませんでしたが、常時携帯しています。（包括：1件）

機会がなかったが、今後機会も増えると思うのでカンファレンスの時に確認していきたい。（包括：1件）

使用の機会はありませんが、新任職員の育成機会等があれば活用しようと考えています。（施設：1件）

• その他

◆病院

コロナの為退院前カンファレンスまで出来ず、個別で相談員や訪問看護のみやケアマネのみ来院してもらうなどの状況もあります。

入退院支援に興味のある職員にアナウンスしています。

入退院に際し、関係機関がそれぞれ支援の内容を把握することでスムーズな在宅生活への移行ができると感じる。

◆居宅

連携サマリーを送っていますが、今日退院しましたという電話だけだったり、まったく連絡がない所もあります。きちんとカンファレンスを開催しているところもあり、対応がいまだに様々です。（2件）

退院後の支援についてイメージしやすくなります。退院しても必要な連携はとっていただけることが確認出来る為、心強く思います。

入院中で在宅復帰困難な方の対応に役立てさせていただきたいと思います。

入退院時などの情報共有の際、サマリーを活用させていただいています。

◆包括

病院によって、退院に向けてのカンファレンスの時期や情報提供の内容が違うので、このようなガイドを活用してもらいたい。

◆施設

突発的な入院が多いため、加療後も病院相談員の方に色々対応していただく事が多い。

4. 『連携ガイド』をご覧になって、今後使いやすくする為のご意見をお願いいたします。

・ガイド内に追加する事の提案について

◆居宅

医療機関の入退院時の窓口・連絡先（直通電話・FAX）の一覧表を掲載してほしいと思います。
コロナ禍での連携のポイントなどが記されていると助かります。（3件）

◆包括

4月から包括が自立相談支援機関の役割も担っているので、8050世帯等同居している家族やKPの支援も必要となった場合のため、福祉拠点についてふれていただいてもよいと思う。

◆施設

連携ガイド内に各医療機関等の連携窓口の連絡先一覧等があるとありがたいと思います。（2件）

介護施設種別の詳細（どのような施設なのか等）があれば利用者本人、家族も分かりやすいのではないかと考えます。

介護施設の違いをフォローチャートの中に「サービスについての理解」等として自身でも学ぶ必要性の提示をする
とよいのではないかとと思う。

・ガイド自体の形について

◆居宅

情報を過不足なく載せてあると思うが、ページ数が多いと感じる。もう少し情報が少なくてもいい。（3件）

◆包括

丁寧なので文字数が多い。簡易版があると使いやすいのかなとも思います。

◆施設

ポケットサイズの冊子になっていれればと思います。

全てが一冊になっているので、施設版、病院版と分かれている方が見やすいと思いました。

・ガイド（医療介護の連携）の周知について

◆居宅

内容を医療・介護・福祉の職員各々が共通認識する取組が必要かと思えます。

具体例などもあれば、ご家族様や本人様への利用も可能になるのではと思えます。

新入社員が入職するため定期的に研修を開催してほしい。難病対応可能な医療機関を載せてほしい。

◆包括

どのような場面でガイドを使っているか具体的に知りたいです。

・現状でよい

（病院：1件）（居宅：2件）（施設：1件）

・その他

◆病院

各施設で部署の役割等が異なりますし、分業化等も行われているのでマニュアルとするのは難しいと考えます。

◆居宅

医療機関により、連絡いただくタイミングなど異なる事もあり、必要な部分の情報が確認出来れば臨機に対応していくことでいいのかと思っています。